

## 2023年度（公財）ジャパンマテリアル国際奨学財団

標記財団からの推薦依頼に基づき、以下のとおり、募集します。応募に際しては必ず、募集要項等で詳細を確認してください。

応募資格	<p>(1) 財団が提示する応募資格を全て満たすこと。  <b>・対象：ベトナム国籍を有し、2023.4.1時点で30歳以下である、学部2年生以上・大学院生</b></p> <p>(2) 在留資格が「留学」であること（あるいは「留学」へ変更申請中であること）。</p> <p>(3) 2022年度において休学、原級、在籍原級、留籍をしていないこと。  また、応募する奨学金の受給年度において休学、原級、在籍原級、留籍の見込みがないこと。</p> <p>(4) 2022年度に懲戒処分を受けていないこと。また、応募時点で懲戒処分期間中ではないこと。</p> <p>(5) 直近のGPAが、学部生で2.7以上、大学院生で3.5以上（会計専門職研究科学生のみ2.5以上）であること。</p>
推薦者数	特になし
学内締切（厳守）	2022年12月9日（金）17：00
提出書類	<p>募集要項の＜応募時に提出する書類＞①～⑩をよく確認して記入の上、提出すること（①～④・⑩は手書き）。</p> <p>（注）「9」の推薦状は、指導教員に、2ページ目の「推薦理由」記入・押印してもらうよう依頼してください。なお、1ページ目の記入（学長名による推薦状）は不要です。</p>
提出先	国際教育事務室（駿河台・和泉・生田）または中野教育研究支援事務室
重要事項	特になし
注意事項	<p>(1) 応募に際しては必ず、「募集・推薦要項」で詳細を確認してください。</p> <p>(2) 学内での応募についてはこの学内募集要項の指示にしたがってください。</p> <p>(3) 不明な点がある場合には、国際教育事務室、中野教育研究支援事務室（中野キャンパス低層棟3階）へ問い合わせることとし、<u>直接、当該財団に問い合わせないでください。</u></p> <p>(4) 学内応募については、他の奨学金との併願を認めますが、同一の学生を併給が認められない複数の奨学金には推薦しません。</p>
個人情報の取り扱いについて	<p>明治大学は、「学校法人明治大学個人情報保護方針」ならびに本学「個人情報の保護に関する規程」に基づき、日本学生支援機構奨学金、学内奨学金、その他の学外奨学金の申請者及び保護者等関係者の個人情報（学籍異動・成績情報を含む）を奨学金業務を適切に遂行する目的以外には使用しません。また、個人情報提供先については、法令に遵守した形で行い、これらの目的以外に個人情報を利用しないことを約束します。</p>
お問い合わせ	〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学 国際教育事務室 奨学金担当（03-3296-4146）

公益財団法人

ジャパンマテリアル国際奨学財団

Japan Material

International Scholarship Foundation

Quỹ Học bổng Quốc tế

Japan Material

2023 年度 奨学生 募集要項

# 公益財団法人 ジャパンマテリアル国際奨学財団

## 2023 年度 奨学生 募集要項

公益財団法人 ジャパンマテリアル国際奨学財団は、21 世紀の日本とベトナムの友好親善関係の一層の増進に貢献し、さらにはベトナムの国造りを支える人材の育成を支援することを目指しております。

今回は 2023 年度の奨学生募集を行いません。日越両国間の相互理解促進と両国の発展のために活躍しようとの意欲溢れる、ベトナム国籍の留学生の応募をお待ちしています。

〈応募対象者〉（以下の条件を全て満たす者）

- ① ベトナム国籍を有し、本財団が対象とする日本国内の大学（次頁参照）に、「外国人留学生」（在留資格が「留学」）として在籍する者
- ② 2023 年 4 月 1 日時点で学部正規課程（2 年次以上）、または大学院正規課程（修士課程、博士課程）に在籍する者
- ③ 2023 年 4 月 1 日現在、年齢が 30 歳以下であること
- ④ 修学のために経済的援助を必要とし、2023 年 4 月以降、他の奨学金を受給していない者（但し、月額 48,000 円以下の奨学金等は受給しても可とする〈例えば「学習奨励費」は応募可〉）
- ⑤ 学業が優秀であり、かつ人物面で信頼できる者
- ⑥ 日本とベトナムの友好親善の関係増進に貢献できる者
- ⑦ 日本語のコミュニケーション能力を有する者（日本語能力に関する試験を受験し、合格していることが望ましい）
- ⑧ 以下の奨学生としての義務を果たせる者
  - ・当財団が開催する式典、交流会等にすべて参加すること
  - ・学期ごとに成績証明書を提出すること
  - ・月次報告書を提出すること

〈採用奨学生数〉

40 名程度

〈募集期間〉

2022 年 11 月 14 日（月）から 2022 年 12 月 16 日（金）まで

（応募書類の受理については 12 月 16 日消印有効とし、それ以後については理由の如何に関わらず受理しない）

### 〈応募方法〉

本財団は対象大学を通じてのみ、応募を受け付けます（郵送、簡易書留にてお願いいたします）。留学生からの直接応募は受け付けません

### 〈2023年度募集時の対象大学、以下の17大学〉

大阪大学、京都大学、慶應義塾大学、神戸大学、筑波大学、東京工業大学、東京大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、名古屋大学、一橋大学、法政大学、三重大学、明治大学、横浜国立大学、立命館大学、早稲田大学

### 〈奨学金の額、奨学金の支給方法など〉

- ・奨学金の額は、総額120万円（月額10万円）とする（奨学金は給付型であり、返済の義務はなし。また、大学卒業・大学院修了後の進路については特に条件を課さず、本人の自由とする）
- ・奨学金の支給期間は、2023年4月から2024年3月までの12か月間
- ・支給の時期は、原則として毎月25日に奨学生本人の銀行口座（次頁参照）に翌月分を送金する

### 〈応募時に提出する書類〉

- 1 奨学金申請書（本財団所定の様式あり、手書きで記入。3か月以内に撮影したカラー写真 縦5cm横4cmを添付）
- 2 履歴書（本財団所定の様式あり、手書きで記入）
- 3 身上書（本財団所定の様式あり、手書きで記入）
- 4 小論文（本財団所定の様式あり、日本語とベトナム語にて手書きで記入）
- 5 外国人登録証明書のコピー、または在留カードのコピー（氏名、住所、在留資格の確認のため）
- 6 在籍する大学の在学証明書（2023年4月に大学院に入学する留学生の場合は大学院の合格証明書、または在学証明書）
- 7 在籍する大学の最新の成績証明書（修士課程1年生の場合は学部の成績証明書を提出、修士課程2年生および博士課程在籍者の場合は学部、大学院の両方の成績証明書を提出）
- 8 日本語のコミュニケーション能力に関する書類
  - ・受験している場合：日本語能力に関する試験の成績書のコピー
  - ・試験の成績書がない場合：日本語能力評価表（本財団所定の様式あり）
- 9 推薦状1通（指導教員等による推薦状、A4版1頁）
- 10 個人情報の取扱いについての同意書（本財団所定の様式あり、手書きで記入）

### 〈選考方法と採用決定について〉

- ・対象大学より推薦された者について、本財団内に設置する「奨学生選考委員会」において審査し、その結果を理事会に報告し、理事会が採否の決定を行なう
- ・応募者全員について、2月下旬までに大学宛てに採用の可否を通知する

〈その他〉

- ・応募書類の受け付け後、記入内容確認のため、本財団の担当者と応募者との面談の機会を設けます（1時間程度）
- ・面談の日時・場所は大学の担当窓口を通じて日程調整をして設定します
- ・採用決定者には、奨学金送金のため本財団が指定する銀行（三井住友銀行、または百五銀行）に口座を開設していただきます
- ・応募書類は返却しません。本財団にて適切に保管、或いは処分します
- ・採用可否の通知時期は前後する場合があります

〈奨学金の打ち切りについて〉

以下の12項目のいずれか一つに該当する場合には、奨学金を一時停止、または打ち切り、故意や重大な過失が認められたときは給付した奨学金の一部若しくは全部の返還を求めることがあります

- ① 応募書類に重大な虚偽記載が判明した場合
- ② 在留資格「留学」を失った場合
- ③ 在籍する大学の学籍を失った場合
- ④ 在籍する大学で処分を受けた場合
- ⑤ 取得単位数が甚だしく少ない、或いは学業成績が甚だしく不良の場合
- ⑥ 在籍大学を休学、または外国留学（交換留学、短期語学留学など）した場合
- ⑦ 連続して1か月以上、日本を不在にした場合
- ⑧ 連続して1か月以上、大学を欠席した場合
- ⑨ 奨学金を必要としない事由が発生した場合
- ⑩ 本財団の名誉を傷つけた場合
- ⑪ 本財団と連絡が取れなくなった場合
- ⑫ その他、本財団が奨学金を一時停止、または打ち切るに足る理由があると判断した場合

〈問い合わせ・応募書類送付先〉

公益財団法人 ジャパンマテリアル国際奨学財団

Office : 〒510-1311 三重県三重郡菰野町永井 3098 番 22

Tel : 059-325-7803 Fax : 059-325-7804

Email : jimukyoku@j-foundation.or.jp

# 2023 年度 奨学金申請書

公益財団法人 ジャパンマテリアル国際奨学財団

理事長 田中 久男 殿

貴財団の奨学金の支給を受けたく申請いたします。

申請年月日 西暦 2022 年 月 日

申請者署名 \_\_\_\_\_

写真 (カラー)  
(5 × 4 c m)

上半身の近影写真  
(3ヶ月以内に撮影)

裏面に氏名を書いて  
のりで貼り付けること

氏名	英 文 アルファベット	_____, _____ Family Name Given(First)Name (姓) (名)					
	カ タ カ ナ						
国 籍	ベトナム	在留資格			既婚 未婚 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
生 年 月 日	年 月 日生	年齢	2023 年 4 月 1 日現在 歳	性別	男 女 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
旅 券 番 号		旅券発行年月日					
日本での現住所	(〒 - )						
	寮・アパート・マンション・借家 (その他)						
	TEL : ( ) -	E-mail (PC) :					
	携帯電話 : - -	E-mail (携帯) :					
在籍大学等	※以下、2023 年 4 月からの内容を記入してください						
大 学	大学 ( 年 月入学)						
学 部	学部	学科	年次生				
大 学 院	研究科	専攻	年次生				
	所属課程に○印をつけること (修士課程・博士前期課程 / 博士課程・博士後期課程)						
担当部課等 (職員)	部課名 ( )		担当者 ( )				
	学内連絡先	TEL : ( ) -	内線				
指導教員等	職名	学内連絡先	TEL : ( ) -				
	(フリガナ)						
	氏 名						

# 履 歴 書

(2022年 月 日現在)

氏 名 \_\_\_\_\_ 来日年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

## 1. 学歴等

学 校 名 (※1)	所在国・都市	正規年数	入学・卒業年月 (※2)		学部・大学院
日本語学習校		年	入学	年 月	
			卒業	年 月	
高校		年	入学	年 月	
			卒業	年 月	
		年	入学	年 月	
			卒業	年 月	
		年	入学	年 月	
			卒業	年 月	
		年	入学	年 月	
			卒業	年 月	
		年	入学	年 月	
			卒業	年 月	
2023年4月時点の在籍校 (※2)		年	入学	年 月	
			卒業	年 月	
賞 罰					
資 格 (※3)	日本語能力試験	年度受験	級 合格・不合格		
	その他				
兵 役 (※4) 有・無	過 去	年 月 日～	年 月 日まで		
	将来の予定	年 月 日～	年 月 日まで	/不明	

※1) 高等学校・高等専門学校入学から現在までの学歴を記入してください。日本語学習校、研究生の期間についても記入してください。

※2) 2023年4月時点の在籍校については、卒業見込の年月を記入してください。

※3) 資格を証明する証書の写しを添付してください。

※4) 兵役の有無に○印をして、兵役が有る場合はその期間も記入してください。

## 2. 職歴

勤務先名 (所在地)	職務内容 (役職名)	勤務期間
( )	( )	入社 年 月
		退社 年 月
( )	( )	入社 年 月
		退社 年 月

# 身 上 書

(2022年 月 日現在)

No.1

本 国 の  
住 所

氏 名

電話番号

## 1. 家族状況 (※同居している家族がいる場合は、『同居』の欄に○印を記入してください。)

1	氏名						住所	
	続柄	父	年齢		同居		職業	
2	氏名						住所	
	続柄	母	年齢		同居		職業	
3	氏名						住所	
	続柄		年齢		同居		職業	
4	氏名						住所	
	続柄		年齢		同居		職業	
5	氏名						住所	
	続柄		年齢		同居		職業	
6	氏名						住所	
	続柄		年齢		同居		職業	
7	氏名						住所	
	続柄		年齢		同居		職業	

## 2. 奨学金

2023年4月以前の 他の奨学金受給実績 (月額)	円	奨学金の名称 ( )					
	受給期間:	年	月	~	年	月	2023年4月以降の継続受給 (可・否)
	円	奨学金の名称 ( )					
2023年4月以降の 他の奨学金への応募	受給期間:	年	月	~	年	月	2023年4月以降の継続受給 (可・否)
	応募している ・ 応募していない						
	円	奨学金の名称 ( )					

## 3. 自国への一時帰国や長い間不在のため連絡が取れない場合の日本での連絡先

氏 名		性別		あなたとの関係	
		職業			
現 住 所	(〒 - )		TEL : ( ) -		



# 身 上 書

No.2

## 4. 経済状況

平均収入月額合計	円	摘 要	
(1) 本国等からの仕送り額	円	仕送り者名	
(2) アルバイト	円	勤務先	職務内容
		平均勤務日数	日/週 平均勤務時間 時間/日
		勤務先	職務内容
		平均勤務日数	日/週 平均勤務時間 時間/日
(3) 奨学金 (本人)	円	内容	
(4) 同居家族の収入	円	内容	
(5) その他の収入	円	内容	
平均支出月額合計	円	摘 要	
内 訳	住 居 費	円	ルームシェア ( 有 ・ 無 ) 人
	食 費	円	自炊・外食
	水道・光熱費	円	電気・ガス・水道代等
	学 習 費	円	参考書、文具、コピー代等
	電話料、その他	円	電話料、交通費、健康保険料等
授業料年額 (満額記入)	円	授業料免除【 免除率： % 】 (昨年度) 支払者 ( 本人・その他 [氏名] )	
授業料以外 (※1)	円	施設整備費、実験実習費等	

※1) 毎年大学へ支払う授業料に含まれる施設整備費、実験実習費等の金額が分れば記入してください。

## 5. 日本での身元保証人

(フリガナ) 氏 名		Tel	( ) —	あなたと の関係	
---------------	--	-----	----------	-------------	--

## 6. その他

日本留学の目的	別紙用紙に記入すること
将来希望する進路 (又は、卒業後の予定)	別紙用紙に記入すること





## 日本語能力評価表

氏名：

所属：

1. 日本語能力に関する評価（①から⑤について、該当する欄に○を付けてください。）

	初 級		中 級		上 級	
	前半	後半	前半	後半	前半	後半
日本語能力試験相当		N5	N4	N3	N2	N1
① 総 合						
② 話す						
③ 聞く						
④ 読む						
⑤ 書く						

2. 評価者意見

.....

.....

.....

.....

.....

.....

以上のとおり、相違ありません。

年 月 日

評価者 役職名 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ (印)

日本語能力試験（JLPT）認定の目安

レベル	認定の目安	
N1	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる	
	読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い話題について書かれた新聞の論説、評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、文章の構成や内容を理解することができる。</li> <li>さまざまな話題の内容に深みのある読み物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を理解することができる。</li> </ul>
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い場面において自然なスピードの、まとまりのある会話やニュース、講義を聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係や内容の論理構成などを詳細に理解したり、要旨を把握したりすることができる。</li> </ul>
N2	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる	
	読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、平易な評論など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解することができる。</li> <li>一般的な話題に関する読み物ものを読んで、話の流れや表現意図を理解することができる。</li> </ul>
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができる。</li> </ul>
N3	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる	
	読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な話題について書かれた具体的な内容を表す文章を、読んで理解することができる。</li> <li>新聞の見出しなどから情報の概要をつかむことができる。</li> <li>日常的な場面で目にする難易度がやや高い文章は、言い換え表現が与えられれば、要旨を理解することができる。</li> </ul>
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を登場人物の関係などとあわせてほぼ理解できる。</li> </ul>
N4	基本的な日本語を理解することができる	
	読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで理解することができる。</li> </ul>
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる。</li> </ul>
N5	基本的な日本語をある程度理解することができる	
	読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型的な語句や文、文章を読んで理解することができる。</li> </ul>
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。</li> </ul>

(日本語能力試験公式ウェブサイトから引用)

公益財団法人ジャパンマテリアル国際奨学財団  
理事長 田中 久男 殿

公益財団法人ジャパンマテリアル国際奨学財団  
奨学生推薦状

下記の者を、貴財団の2023年度奨学生として適当な者と認め、推薦いたします。

記

被推薦者氏名 \_\_\_\_\_

学部/学科/学年 \_\_\_\_\_

年 月 日

大学名

学長名

印

【 推 薦 理 由 】

指導教員氏名

印

## 個人情報の取扱いについての同意書

当財団は、以下の「個人情報保護方針」に従い、奨学金制度の募集に関してお預かりする応募者の個人情報（願書等）を取扱います。これに同意いただける場合は、同意書にご署名いただき、願書等とともにご送付いただきますようお願いいたします。

公益財団法人ジャパンマテリアル国際奨学財団  
理事長 田中 久男

### 個人情報保護方針

公益財団法人ジャパンマテリアル国際奨学財団（以下当財団）は、平成 17 年 4 月 1 日から全面施行された「個人情報の保護に関する法律（以下、個人情報保護法といいます。）」に則り、職務に関連する個人情報の取得・利用・管理等の取扱いについて、以下の通り個人情報保護方針を定めます。

#### 1. 個人情報に関する法令などの遵守

個人情報に適用される関係法令・ガイドライン等を遵守し、個人情報の取扱いを適切に行います。

#### 2. 個人情報の収集

個人情報は、適正な手段により取得します。

#### 3. 個人情報の利用目的

個人情報の利用目的は、当財団の奨学生制度に関し、募集要領等の送付、選考手続き並びに選考結果の連絡及び公表等に利用することがあります。個人情報の利用は、利用目的の達成に必要な範囲で行います。

#### 4. 個人情報の開示について

個人情報を上記 3. 以外の目的で第三者に提供する場合は、予め本人の同意を得ることとします。また、個人情報の取扱を第三者に委託する場合は、安全管理が図られるよう適切に対処します。なお、法令上開示すべき義務その他緊急の必要がある場合には、例外的に個人情報を第三者へ提供することがありますので、ご了承ください。

#### 5. 個人情報の適正管理

応募者からご提供いただきました個人情報について、漏洩、改ざん、紛失などの事態が生じないように、適切な安全管理措置を講じます。

### 同意書

上記、個人情報の取扱いについて同意します。

\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

\_\_\_\_氏 名



## 申請書類の記入上の注意

### 全般的事項について

- (1) 原則として日本語（楷書）で、丁寧に記入すること。
- (2) アルファベット使用の場合は活字体で記入すること。
- (3) 数字は算用数字を用いること。
- (4) 該当する欄はすべて記入すること。
- (5) 記入は万年筆またはボールペンで書くこと。（消せるボールペンでの記入は不可）

### 「奨学金申請書」について

- (1) 年齢については、2023年4月1日現在によって記入すること。
- (2) 日本での現住所については、建物名まで記入すること。
- (3) メールアドレスは、読み間違いのないように丁寧に記入すること。
- (4) 在籍大学名等欄は、大学名を記入し、学部の場合は学部名・学科名、大学院の場合は研究科名・専攻名を記入し、該当する課程に○印をつけること。  
なお、年次は2023年4月1日現在によって記入すること。

### 「履歴書」について

- (1) 学歴については、卒業した学校名をすべて時系列に記入すること。  
なお、大学院については所属する課程も記入すること。
- (2) 賞罰・資格・職歴がない場合は「なし」と記入のこと。
- (3) 職歴については、本国および日本における職歴を記入のこと。  
ただし、アルバイトは含めないこと。

### 「身上書」について

- (1) 「1. 家族状況」には、父母のほか配偶者・子供・兄弟姉妹についても記入すること。  
なお、父母が死亡の場合は、年齢欄に「死亡」と記入すること。
- (2) 職業は、会社名、役職、仕事内容等を記入すること。また、学生の場合は学校名を記入すること。  
なお、父母が死亡の場合は、生前の職業を記入すること。
- (3) 配偶者が留学生で日本政府奨学金、その他の奨学金を受けているときは、「4. 経済状況」の「(4) 同居家族の収入」欄に奨学金の金額（月額）および奨学金の名称を記入すること。

- (4) 「4. 経済状況」の支出内訳の食費欄については、自炊・外食の主な方を○で囲むこと。
- (5) 「4. 経済状況」の支出内訳の「水道・光熱費」「学習費」「電話料、その他」については、費用の内訳も記入すること。
- なお、大学入学金や授業料等は学習費に含めず、「授業料年額」「授業料以外」欄に免除される前の金額（満額）を記入すること。
- (6) 日本での身元保証人は、成人の一般人に限る。万一、保証人たる知人がいない場合は、大学事務局にお願いし記入すること。
- (7) 「日本留学の目的」および「将来希望する進路（又は、卒業後の予定）」は、身上書の別紙記入用紙に記入すること（各 200 字以内）。